

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 地域連携による活力ある高校づくり推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 教育総務課 教育企画第二係 電話番号：058-272-1111 (内 3518)

E-mail： c17765@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,350 千円 (前年度予算額：13,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	13,500	6,640	0	0	0	0	0	0	6,860
要求額	12,350	6,075	0	0	0	0	0	0	6,275
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会から提出のあった「審議まとめ」(H28.3.29)で再編統合の検討対象校として位置付けられた高校について、協議会を設置し、高校と地域社会を強く結びつける学習活動支援策の実施などにより単独校としての活力を向上させる施策を展開している。

H28 から順次実施してきた対象校 19 校 (グループ 1・2) の事業成果を評価した結果、有効性が認められるため、学校運営協議会からの提案なども踏まえた特徴的・効果的な取組みを継続して実施していく必要がある。

(対象校) グループ 1 不破、郡上北、八百津、東濃、瑞浪、土岐紅陵、
恵那南、坂下、高山工業、飛騨神岡

グループ 2 山県、揖斐、池田、海津明誠、関有知、恵那農業、
中津商業、中津川工業、吉城

(2) 事業内容

第3次岐阜県教育ビジョンの「未来を創り出す人材を育成する学校づくりと地域との連携の推進」の具現化を図るため、生徒の自己肯定感の涵養、各高校の特色化・魅力化を目的とし、地域と連携し実践から学ぶ教育活動を推進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・ 県立高等学校の活性化として県が主体となって推進しており、設置者である県の負担により実施

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	1,197	外部講師等謝金
旅費	770	外部講師等費用弁償、職員業務旅費
需用費	3,999	消耗品費、印刷製本費
役務費	315	電話代、郵便代、保険料
委託料	690	業務委託料
使用料	5,360	バス借上料、会場借上料
会議費	19	会議費
合計	12,350	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョン（R1～5）

- ・ 基本方針1 んふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
目標6 未来を創り出す人材を育成する学校づくりと地域との連携の推進

(2) 国・他県の状況

- ・ 中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（R3.1.26）がとりまとめられ、新時代に対応した高等学校教育等の在り方について、高校生の学習意欲を喚起し、可能性及び能力を最大限に伸長するための各高等学校の特色化・魅力化が進められている。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 学校と地域社会を強く結びつける学習活動支援策を実行・検証・評価し、単独校としての活力を向上させる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

地域の特性やまちづくりの方向性を踏まえた高校活性化策を検討、実施しているものであり、各校の取組内容やねらいに差異があるため、到達度の指標を設定することは困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	学校の活力を向上させるため、学校運営協議会の議論等を踏まえ、各校の活性化策を組織的・計画的に検討、実施した。 地域と連携した学習活動により、学校と地域社会を強く結びつける支援策が得られ、地域と協働して学校の活性化を実施することができた。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>今後の少子化の継続、教育の水準向上や機会均等、産業構造や社会のニーズ等の変化に対応した県立高等学校改革が必要であるため。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 3	<p>まちづくりの方向性に沿った活性化策を実施することにより、地元自治体からの支援が得られるようになった。また、高校生の満足度も向上しており、学校の活性化につながっている。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>学校運営協議会の議論を踏まえ、各校の活性化策を組織的・計画的に検討、実施している。また、これまでの事業成果を評価・検証したうえで、継続して実施する事業の重点化を図っている。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>さらなる少子化に対応するため、地域との連携を深化するとともに、学校ごとの実情に合わせて活性化策を見極め、更に適切な指導・助言と評価を行い、翌年度以降の取組を改善する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>各学校における取り組みを引き続き支援するとともに、更に地域と一体となった高校活性化策を検討する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	